

# とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



ジパング展(県立美術館)

## 色々なことを乗り越えよう！「何とかなる！」

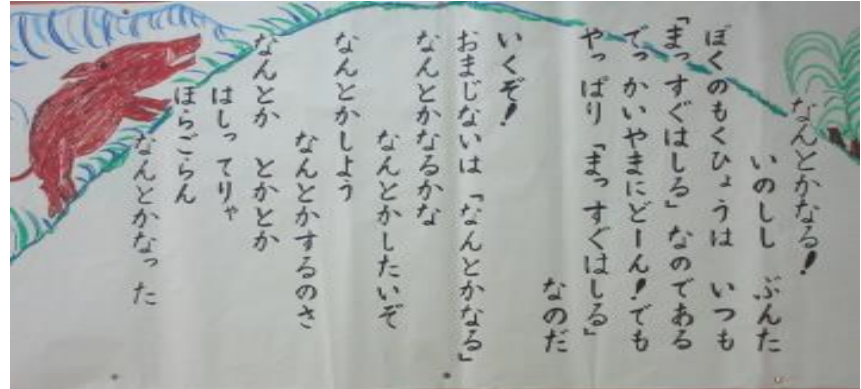
仕切り直しの2学期が始まり、有田っ子は新たな目標に向かってスタートしています。下の掲示物「何とかなる！」(いのしし ぶんた)は、私も好きな作家の一人である、工藤直子さんの詩集「のはらうた」に収められています。

気に入った理由は、詩の後半部分です。

「何とかなるかな 何とかしたいぞ  
何とかするのさ はしってりゃ  
ほらごらん なんとになった」

人は誰しもこれからのことに不安を抱きます。上手くいくか、どうか、考えて解決できることは考えるべきです。考えても仕方ないことは、とにかく、やってみることが必要な時もありそうですね。

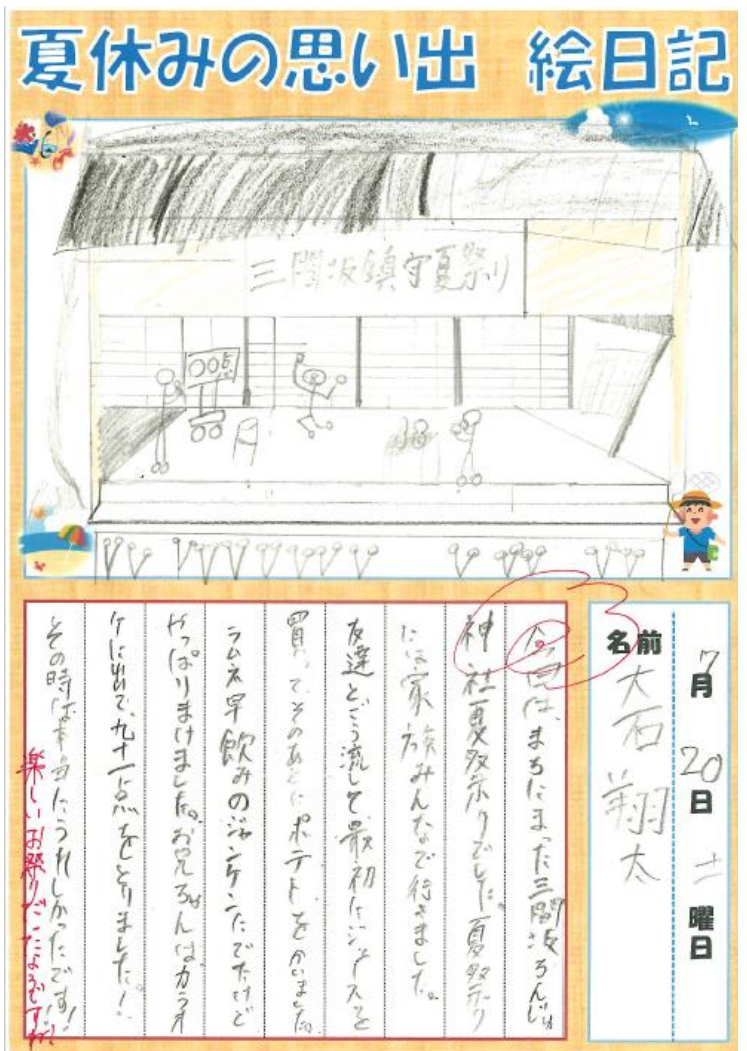
有田っ子も走り始めています。考えながら、時には立ち止まって考えていくことでしょう。子ども達の考えを受け止め、有田っ子が考えて選択し決定する場面を設定していきます。これは、今年度、佐賀県がめざす「-人づくり大県 さが-」にあるトライ&エラーを重ねながら、個性をのばしていくことにも通じます。有田っ子のすばらしさを更に伸ばし、骨太の子ども達を育てていきましょう。



## 夏休み作品展を実施中！

右の絵日記は、5年生の大石翔太さんの夏休み中の絵日記です。楽しみにしていた夏祭りでの出来事を素敵な絵と文章で書くことができます。それに対し、担任がコメントを返しています。このように、子どもの思いを認め、共感しています。それが、子どもとの距離を縮め、新たな成長を促すことにつながります。それぞれの学級で、子ども達の夏休みの作品に対し、褒めることばを交わされています。

全校でも、児童玄関内のアートギャラリーで夏休み作品展を行っています。また、理科室前では、子ども達の自由研究を展示しています。どうぞ、来校された際にご覧下さい。



夏の思い出が、二学期へのやる気につながり、新たな目標に変わっていくでしょう。



見事な作品や研究物があります。

## アリタ小学校マイセンとの交流授業が始まる！

9月に入り、3年生は11月21日に訪問団が来校されるドイツマイセン市に開校されたアリタ小学校の3年生と、オンラインで授業交流を始めました。本番は9月20日に実施しますが、その為の準備を町商工観光課の池田さん、久富さんとテオマンさんに手伝って頂き、これまで調べてきた有田町の良さをドイツ語でクイズにして紹介する練習をしました。ドイツ語にカタカタで読み仮名を振って頂き、発音練習をしました。20日は、ドイツの時間に合わせて15:15~15:45に行います。3年生だけ下校時間(16:00)が遅くなりますが、ご了承をお願いします。



峰松先生とクイズの内容を確かめて、テオマンさんとドイツ語の発音を練習し、自分たちで仕上げの練習をしました。

前回の学校だよりでお知らせした、ドイツマイセンからの訪問団へビデオメッセージが完成しました。4年担任の千々岩先生が編集・字幕入れ、仕上げを担当しました。そのビデオメッセージの日本語版を近日中に保護者さん限定で配信します。配信日時や視聴するためのパスワードについては、後日、学校お知らせメールでお伝えします。全校児童で取り組んだビデオメッセージをご覧ください。

## 有田っ子、タイピングタイムに取り組んでいます！

児童が授業中にタブレットを文房具と同じように活用する為に、朝の時間に全校でタイピング練習に取り組んでいます。1年生から6年生まで、それぞれの技能に応じたアプリを使ってキーボードで入力できるようになっています。これも少数精鋭の有田っ子だからこそできる、誰一人取り残されない教育の1つです。来週には、教育委員会等の学校訪問を予定しています。その中で、全学級が、授業でタブレットを全員の児童が使う場面を公開します。タブレットを含めたICTが、これからの時代を担う子ども達にとって、欠かせない必須アイテムの1つになっていくことでしょう。



2年生はひらがな入力を、3年生はローマ字入力を、6年生は入力の正確さとスピードを練習しました。

## ようこそ、有田っ子の先輩方！ありがとうございました！

先週水曜日(4日)から、有田中学校の2年生が職場体験として本校に来ました。3日間と短い期間ではありましたが、担任の先生のお手伝いや子ども達のお世話を通して、働くことの素晴らしさを感じていました。5人の卒業生の皆さん、ありがとうございました。

